

# 議長に村山繁生議員 副議長に荒木美幸議員 監査委員、議会運営・各常任委員会委員も決まる

議会事務局 (☎354-8257 FAX354-8304)

5月開会議会が5月14・15日に開かれ、令和7年定例会の会期を令和8年4月30日までの352日間と決定し、議会役員が選出されました。(敬称略)



村山繁生議長



荒木美幸副議長

■議会選出監査委員 小林博次 山口智也

■議会運営委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

◎中川雅晶 ○樋口龍馬 伊世利子 小田あけみ 川村幸康 小林博次 笹井絹予  
笹岡秀太郎 谷口周司 早川新平 山口智也 山田知美

■常任委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

総務	◎後藤純子	○樋口博己	川村幸康	早川新平	樋口龍馬	森 智子
	森川 慎	諸岡 覚				
教育民生	◎竹野兼主	○田中 徹	伊世利子	上 麻理	笹岡秀太郎	中川雅晶
	日置記平	山田知美				
産業生活	◎谷口周司	○今村厚美	伊藤嗣也	太田紀子	加納康樹	小林博次
	笹井絹予	辻 裕登	山口智也			
都市・環境	◎石川善己	○村上 暁	荒木美幸	荻須智之	小田あけみ	平野貴之
	水谷一未	森 康哲				
予算	◎加納康樹	○水谷一未	ほか議長を除く全議員			
決算	◎平野貴之	○上 麻理	ほか議長および議会選出の監査委員を除く全議員			

BUNKAZAI SANPO Vol.38

## 文化財さんぽ

☎文化課 (TEL 354-8238 FAX 354-4873)

### 数学への情熱が伝わる「算額」

「算額」は、日本独自の数学「和算」の問題を解いて神社仏閣に奉納した絵馬の一種です。奉納された算額を人々が見ることで、解答を広く知らしめたほか、問題を解いた人の名を誇示する意味もあります。江戸時代に流行した風習で、三重県には記録の上で、30面以上があったとされていますが、現存するものは11面に過ぎません。

川島町の神明神社には、このうち寛政二(1790)年、天保十五(1844)年、文久三(1863)年の3面の算額が残されています。特に寛政二年に奉納されたものは現在、三重



神明神社に奉納された算額のレプリカ (川島町)

県最古と考えられています。額には3問あり、数学の代数が解かれています。天保十五年の額は、柳川安左衛門の奉納で出題した問題を、門人の清水中治が文久四(1864)年に回答したことを裏面に記しています。文久三年の額は清水貞信が出題したものです。

算額は、和算が江戸時代の70年以上にわたって川島地区で親しまれていたことを知る貴重な文化財です。そのレプリカは神明神社拝殿に飾られており、数学の問題に取り組みうとする当時の人々の情熱が伝わってきます。